

重点都道府県等調査票

都道府県市名：福岡県

本研究への参加に同意する … 諾 ・ 否

※参加いただける場合には「諾」を○で囲み、以下の調査にご回答をお願いします。
参加が困難である場合には「否」を○で囲み、以下に回答されることなく本研究班事務局に本調査票をご返送ください。

本研究以外での情報の利用について … 諾 ・ 否

※提供する情報が将来新たに計画・実施される医学研究に、倫理審査委員会の新たな承認の後、使用されることに同意いただける場合は「諾」を○で囲んでください。

【返送先】

九州大学大学院医学研究院泌尿器科学分野

平賀 紀行

〒812-8582 福岡市東区馬出 3-1-1

TEL:092-642-5603 FAX:092-642-5618

E-mail: hiraga.noriyuki.550@m.kyushu-u.ac.jp

【モニタリング項目 1】

HIV 感染者・エイズ患者新規報告数(2022 年～2024 年)

| | 2022 年 | 2023 年 | 2024 年 |
|------------|--------|--------|--------|
| HIV 感染者(人) | 44 | 45 | 36 |
| エイズ患者(人) | 20 | 14 | 20 |
| 新規報告数合計(人) | 64 | 59 | 56 |

国勢調査人口(直近(R2)):福岡県 5,135,214(人)

福岡県域+久留米市 2,583,793(人)

(北九州市 939,029 人、福岡市 1,612,392 人)

HIV 検査種別検査件数・陽性件数(2022 年～2024 年)

| | 2022 年 | 2023 年 | 2024 年 |
|-----------|--------|--------|--------|
| 平日検査件数(件) | 279 | 856 | 996 |
| うち陽性件数(件) | 1 | 2 | 2 |
| 夜間検査件数(件) | 7 | 10 | 26 |
| うち陽性件数(件) | 0 | 0 | 0 |
| 休日検査件数(件) | 0 | 17 | 20 |
| うち陽性件数(件) | 0 | 0 | 0 |
| 迅速検査件数(件) | 246 | 775 | 872 |
| うち陽性件数(件) | 3 | 3 | 5 |
| 郵送検査件数(件) | 0 | 0 | 0 |
| うち陽性件数(件) | 0 | 0 | 0 |

・平日、夜間及び休日検査件数には迅速検査件数を含む。(各陽性件数について、平日検査は確定検査、迅速検査はスクリーニング検査の陽性件数を計上しているため、件数が異なる。)

・迅速検査件数は、検査実施日に受検者に検査結果を告知している保健所の検査件数を計上している。

エイズ対策に係る計画 策定の有無 …… 有 ・ 無

※有であれば直近に策定された計画の資料の添付をお願いします

※以下の空欄に概要をご記載くださるか、添付でも構いません。

福岡県感染症予防計画(第5版)

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/yoboukeikaku2024.html>

第2「2 県民一人一人に対する感染症の予防及び治療に重点を置いた対策」

今日、多くの感染症の予防及び治療が可能となってきたことから、感染症の発生状況、動向及び原因に関する情報の収集及び分析とその分析結果並びに感染症の予防及び治療に必要な情報の積極的な公表を進めつつ、県民一人一人における感染症の予防及び感染症の患者に対する良質かつ適切な医療の提供を通じた早期治療の積み重ねによる社会全体の予防を推進します。

エイズ対策推進協議会 開催の有無 …… 有 ・ 無

※有であれば直近で開催された協議会の資料の添付をお願いします

※以下の空欄に概要をご記載くださるか、添付でも構いません

令和6年度福岡県エイズ・性感染症対策推進協議会(令和7年3月5日開催)

○報告・協議事項

1. エイズ・性感染症の発生動向等について
2. 福岡県のエイズ・性感染症対策等について
3. HIV感染者・エイズ患者の医療体制等の整備について

【モニタリング項目 2】

普及啓発および教育についての課題と対応策

(特に青少年、MSM、外国人、性風俗産業従事者、薬物乱用・依存者等)

※以下の空欄にその直近の概要をご記載ください(別添資料あれば添付でも構いません)

福岡県では、HIV検査普及週間や世界エイズデーにあわせて、県庁ロビーにおいて、ポスターやレッドリボンツリーを展示するとともに、啓発資材の配布や旧福岡県公会堂貴賓館のライトアップを行っています。また、各保健所庁舎において、管内市町村・医療機関・学校・主要駅等へ啓発資材の配布等を行っています。

MSMを主な対象として、Hacoと協力のうえ、九州レインボープライド会場にブース出展し、HIVの予防啓発を実施するとともに、保健所で実施している検査等に関する啓発資材やコンドームを作成し、ゲイバーやイベント等で配布しています。

さらに、青少年を主な対象として、県ホームページにおいて、中学校及び高校での活用を想定した性感染症の予防啓発資材を掲載しています。

検査相談体制についての課題と対応策

※以下の空欄にその直近の概要をご記載ください(別添資料あれば添付でも構いません)

性感染症の検査・相談については、保健所設置市を含め県内23か所の保健所等において、無料・匿名で受検等できる体制となっており、うち9か所で迅速検査を実施しています。また、広く県民が受検等しやすいよう、相談先及び検査日程等の情報を一元化して県ホームページに掲載の上、県民に周知しています。

さらには、受検・相談の機会を拡充するため、6月のHIV検査普及週間 及び 12月の世界エイズデーにあわせて、夜間・休日にも臨時検査・相談を実施しています。

また、HIV カウンセラー派遣事業として、エイズ治療の向上を図ることを目的に、エイズ治療拠点病院へカウンセラー等を派遣し、きめ細やかなカウンセリングを行うことにより、対象者の精神的不安の負担軽減や生活に関する相談・支援を行っています。

課題として、県域保健所でのHIV抗体検査の受検者数は令和6年1,042件であり、令和5年の883件からは微増しているものの、コロナ前の水準までは戻っていない状況です。受検対象者は平日日中に保健所へ来所できる方に限られることが多い状況となっています。

また、令和8年度から郵送検査を行う予定としていますが、検査数の想定が困難となっています。

医療提供体制について課題と対応策

(中核拠点病院選定、病院連絡協議会開催、研修計画等)

※以下の空欄にその直近の概要をご記載ください(別添資料あれば添付でも構いません)

・福岡県では、産業医科大学病院を中核拠点病院としています。エイズ治療拠点病院や関係機関、行政間の連携の強化、県内における総合的なエイズ医療体制の確保及び診療の質の向上を図ること等を目的として、福岡県エイズ治療拠点病院等連絡協議会及び研修会を開催しています。(令和6年度:令和7年2月14日開催)

・県内の医療機関等において、針刺し事故等が起こった際に、血液曝露者が2時間以内に抗HIV薬の予防内服を行うことができるよう、九州医療センターをはじめとした各エイズ治療拠点病院の協力を得て、予防内服マニュアルを作成しました。また、県内のどこで針刺し事故等が発生しても、2時間以内に抗HIV薬の予防内服が行えるよう、エイズ治療拠点病院まで遠い地域に関しては、地域の医療機関に抗HIV薬の配備と予防内服処方体制を整備しています。

・HIV陽性者の地域での受け入れ体制を構築すること等を目的として、県内の介護施設等を対象にHIV・エイズ基礎研修会を実施しています。

・福岡県HIV陽性者地域支援ネットワーク会議にオブザーバーとして参加し、HIV陽性者に対する地域包括ケアシステムの構築に向けて取り組んでいます。

地域特有の課題とそれに対する対応策

※以下の空欄にその直近の概要をご記載ください(別添資料あれば添付でも構いません)

令和6年の県内のいきなりエイズ率は35.9%で、全国(33.4%)を上回っています。

また、新規HIV感染者は36人と全国で5番目に多く、人口10万対では東京、大阪に次いで3番目に多い0.71人です。

なお、新規エイズ患者は20人と全国で5番目に多く、人口10万対では0.39人と全国6番目に多いです。

HIV療養の進歩により、HIV陽性者の生命予後が改善された一方で、地域医療や介護分野での受入れ拒否が課題となっています。このことについて、HIV・エイズに関する研修会や普及啓発、関係機関との連携等により、地域医療機関等がHIV陽性者へ対応できる社会を目指して、引き続き、医療提供体制の整備に取り組んでいきます。

【モニタリング項目 3】

エイズ対策推進事業実績額(普及啓発および教育、医療提供体制の再構築)

(直近 3 年間)

※以下の空欄に実績額と地域特有の取り組み等あればご自由にご記載ください
(別添資料があれば添付でも構いません)

2024 年度:3,562,899 円

2023 年度:3,020,147 円

2022 年度:2,592,416 円

特定感染症検査等事業実績額(保健所等における HIV 検査・相談事業)

(直近 3 年間)

※以下の空欄に実績額と地域特有の取り組み等あればご自由にご記載ください
(別添資料があれば添付でも構いません)

2024 年度:8,406,618 円

2023 年度:9,226,348 円

2022 年度:9,383,290 円

これまでの実績を考慮した今後の施策や予算要求の考え方

※以下の空欄にご自由にご記載ください。(別添資料があれば添付でも構いません)

- ・HIV抗体検査及びエイズ等に関する相談体制の継続、さらに郵送検査による検査機会のさらなる拡充に向けて取り組んでいきます。
- ・HIV・エイズに関して、広く、県民への普及啓発活動を継続し、個別施策層に対しては、NPO団体等とも協働していきます。
- ・HIV陽性者が平等に医療や介護・福祉サービスを受けることができる環境となること及び、県内の医療機関や介護施設等が不安等なく、HIV感染者等に対応することができるよう、研修会の実施や抗HIV薬整備事業等に取り組んでいきます。

エイズ施策全般に対する厚生労働省事務局への要望等自由記載欄

※以下の空欄にご自由にご記載ください。(別添資料があれば添付でも構いません)

- ・個別施策層(特に性風俗産業従事者、薬物乱用・依存者等)への普及啓発等エイズ施策の展開について、他自治体の事例等を共有していただきたい。
- ・外国人向けに、多言語ポスターを作成していただきたい。外国人に対しての検査実施の際に活用できる、用語集等を作成していただきたい。
- ・郵送検査に関して、HIV抗体検査以外の性感染症検査についての費用も国庫補助の対象としていただきたい。